

計数感覚とコスト意識を高める

基礎コース

さまざまな日常業務の中で現場リーダーには、採算性の仕掛をマスターし国内のみならず海外との企業競争を勝ち抜くため、モトを回収する判断能力と現場改善活動の計数評価及び実践が求められています。本講座では会計数値を分かりやすく解説し、具体的演習により現場に役立つ計数・コスト感覚を身につけます。

プログラム

対象 ものづくり現場のリーダー
(中核人材)の皆様
経験年数5~10年程度

定員 30名

時間 9:30~16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 平成28年 7月 7日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度(フォローアップ)を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。(有料)

1. 現場で使えるやさしい決算書の見方

- 1 決算書アレルギーをなくするために
- 2 わかりやすい原価と儲けの話し
- 3 現場に必要な付加価値会計のポイント
- 4 現場と管理会計例 (なぜ特売は可能なのか)

2. 計数感覚をつける

- 1 会社数値に強いリーダー
- 2 ものづくりの平均原価構造
- 3 売値と原価計算・減価償却 【演習】
- 4 変動費・固定費---損益分岐点売上実例 【演習】

3. コスト意識を高める

- 1 軸足を付加価値会計に置く
- 2 現場における利益見える化
- 3 自分の時間給と自部門賃率の計算 【演習】
- 4 外注ビジネスでよくある誤解 【演習】

4. 儲けるセンスを磨く

- 1 なぜ在庫は嫌われるのか
- 2 現場における機会損失と埋没費用
- 3 在庫金額の計算と棚卸問題
- 4 改善効果を測るモノサシ

講師紹介

奥野 泉

大手情報通信機メーカーで通信システム設計など広く技術分野の業務に従事後、営業畑に転向、岐阜支店マネージャー、系列会社中部支店長などを歴任し広範な実務経験、ノウハウを持つ。

技術・営業場面の実践的な仕事に精通し、技術思考に基づく営業・経理分野の見方、講義には定評がある。